

ベトナムの半導体産業と AI 分野の成長

2025 年 3 月 10 日 作成

カテゴリ ベトナム経済 外国直接投資 (FDI)

ベトナムの半導体産業と AI 分野の成長

ベトナムの半導体産業は急成長しており、Gartner(ガートナー)の予測によると、世界の半導体市場は 2030 年までに 1 兆ドル規模に達する可能性がある。ベトナム政府は科学技術の発展、イノベーション、デジタル変革を最優先事項とし、官民一体での推進を求めている。

現在、ベトナム国内では Intel、Samsung、FPT、Viettel など 50 社以上のベトナム企業が半導体設計に関わり、15 社以上がパッケージングやテスト、材料・装置製造を行っている。特に FPT は医療分野向けの半導体チップを開発し、Viettel は 5G 機器向けのチップを生産している。また、ベトナムは米国の CHIPS 法に参加する 6 カ国の一に選ばれ、グローバルな半導体サプライチェーンにおいて重要な役割を果たしている。

AI 分野でもベトナムは有望な市場とされ、多くのベトナム企業が国際的な評価を受けている。Nvidia、Microsoft、Google などの大手テクノロジー企業がベトナムに研究開発センターを設立し、AI 技術の発展を支援している。さらに、Lam Research、Marvell、ARM、AMD などの半導体企業が投資を拡大しており、ベトナムのスタートアップエコシステムの成長を促進している。

現在、ベトナムには約 210 の海外ベンチャーキャピタル (VC) ファンドが参入しており、投資件数ではインドネシア、シンガポールに次ぐ東南アジア第 3 位となっている。ベトナム政府は、Nvidia などの企業を誘致し、技術移転と高品質な人材育成を推進する計画を進めている。また、FDI (外国直接投資) の加速のため、特別投資手続きの導入や「グリーンチャンネル」制度の整備を提案し、企業のコスト削減と迅速な事業展開を支援している。

一方で、米国の CHIPS 法は半導体製造企業に税制優遇や補助金を提供し、国内生産を促進している。Intel や TSMC などの企業は、この制度を活用して米国内に新たな生産拠点を設立している。今後、米国政権が交代しても、この政策が継続される可能性が高く、世界の半導体産業に大きな影響を与えるとみられている。

以上